

## 1 平成 20 年度 普通会計決算状況(総括)

# 普通会計決算の概要

## 1 調査団体数

平成20年度財政状況調査の対象となった普通会計団体数は次のとおりである。

市	町	村	一部事務組合	調査団対数
19	25	36	63	143

## 2 決算規模

平成20年度の調査団体の普通会計決算額は次のとおりである。

(単位:百万円、%)

区 分	平成20年度(A)	平成19年度(B)	(A)/(B)×100
歳 入	1,002,308	989,117	101.3
歳 出	959,163	958,610	100.1
差 引	43,145	30,507	141.4

## 3 収支の状況

### (1) 実質収支

ア 平成20年度の調査団体の普通会計の形式収支(歳入歳出差引)は、431億4千5百万円の黒字であり、これから繰越事業の財源として翌年度へ繰越すべき財源163億6千8百万円を差引いた実質収支は267億7千7百万円の黒字で、前年度と比べて8億2千7百万円増加した。

イ 実質収支をみると、143の全団体が黒字となった。

### (2) 単年度収支

ア 単年度収支は前年度と比べ12億7千6百万円増加し、8億3千7百万円の黒字となった。

イ 実質単年度収支は、前年度と比べて18億9百万円増加し、90億8千6百万円の黒字となった。

なお、実質単年度収支の黒字要素である財政調整基金への積立金は70億3千万円で前年度と比べて15億4千1百万円減少し、同じく黒字要素である地方債の任意の繰上償還金は64億8千5百万円で前年度と比べて2億8千7百万円増加した。また、赤字要素である財政調整基金の取崩し額は52億6千6百万円で前年度と比べて17億8千7百万円減少した。